

「弘済会そくほう」は、学校担当がお届けしました。

教職員・弘済会会員の皆様

弘済会そくほう



平成30年 2月号

公益財団法人
日本教育公務員弘済会
岐阜支部

平成30年度 貸与奨学金のお知らせ

平成30年度も

「貸与奨学金事業」を実施の予定！！

**弘済会は、学ぶ意欲にあふれた
青少年を応援します！！**

- 無利息
- 最高100万円を一括貸与
- 返済は最長7年
- 教弘会員でなくても申請可

資格 : 連帯保証人（保護者等）が岐阜県内在住又は在勤で、学校教育法に準拠する短大・大学・大学院・高等専門学校（4・5年生）・専修学校専門課程に30年度入学又は在学中の学生（4月1日時点で30歳未満・未婚）

募集人数 : 60名程度（予算額5,200万円）

貸与金額 : 修業期間1年につき25万円（最高100万円）

岐阜支部の「教育振興事業選考委員会」において選考します。

貸与方法 : 無利息で一括貸与

返還方法 : 貸与生の正規の卒業年の12月を返還の初回とし、毎年12月に5年以内・均等年賦で返還（貸与額百万円に限り7年以内も可）（滞納の場合には延滞金が発生します）

募集期間 : 平成30年4月1日～4月30日（必着）

提出書類 : ①奨学生申請書 ②付属調査票 ③在学証明書
④連帯保証人の収入に関する証明書（源泉徴収票のコピー可）
①②は弘済会岐阜支部HPからダウンロードしてください
（必ずダウンロードした様式をご利用ください。旧様式は使用できません）。

選考委員会での選考・幹事会での承認を経て6月初旬を目途に「決定通知」を送付

貸与決定者は、⑤奨学金借用証書 ⑥連帯保証人の印鑑証明書を提出

貸与時期 : 8月下旬～9月上旬（奨学生名義の口座に振り込み）

奨学生は、卒業後速やかに卒業論文概要又は学習成果、及び奨学金の主な使途を理事長に報告することが求められます。

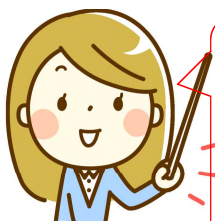
必ず岐阜支部のHPで確認してください

共済事業（提携保険事業）提携保険会社：ジブラルタ生命保険（株）各営業所電話番号

岐阜1・2（058-267-6006）大垣（0584-83-4500）関（0575-22-3793）

美濃加茂（0574-25-3658）多治見（0572-21-3732）中津川（0573-65-3517）高山（0577-32-1623）

宿泊補助券を利用される場合 ● ● ●



弘済会の「宿泊補助券」を使用して指定宿泊施設をご利用になる場合、
必ず電話で宿泊の申し込みをしてください。
インターネットで宿泊予約をされた場合は、「宿泊補助券の使用」は受け付けて
いただけませんので注意を！！

でも、グランヴェール岐山の宿泊は、ネット予約でも
補助券が使える場合があるんです！！

やすらぎの宿 グランヴェール

検索



共済組合員（教職員）の方が、

「**公立共済やすらぎの宿 公式ホームページ**」の「**インターネット宿泊予約 組合員の方**」

からネット予約をされた場合には、弘済会岐阜支部の宿泊補助券を使用できます。

初めての予約の時には会員登録が必要ですが、グランヴェール岐山をよく使われる方はこの方法で予約されるのもいいですよ（キャンセル待ち予約はできませんが、予約が取れば電話は不要になります）。



弘済会の猪の独り言(14)

若い内は、多少の無理も利くが、その無理が後々取り返しの付かない事態につながることもある。先生方には、くれぐれも健康に留意していただきたい。

二月十四日と言えば、バレンタインデーを思い浮かべる人が多いだろう。初任三年目のこの日は木曜日だった。五時間目の授業の最中、右脇腹の激しい痛みで立っていることができなくなり、「悪いけど座って授業をする」と、生徒に断って授業をした。「ひょっとして虫垂炎？」と思ったが、中三を担任しており、私立高校等への出願が重なっていたこともあって我慢をして仕事をした。翌日は、春日井市の高校に学年主任と一緒に出願に行った。車中で「虫垂炎かもしれません」と伝えた。主任からは「卒業間近だし、散らすという方法もある」と言われた。帰校してから近くの病院へ行ったが、既に診療時間が終了しており、痛みも前日ほどではなかったので、そのまま帰宅した。

翌日の土曜日は、授業をしたり万に備えて自習用のプリントを用意したりしている内に、病院に行く機会を逸した。その日の午後、所用で岐阜市に車で向かった。車の乗り降りでも右足を上げる度に右脇腹に激痛が走った。用事を済ませてから何とかアパートまで帰り、熱を測ったら三十八度を超していた。救急で病院へ行くのも気が引けて、我慢をしながら月曜日を待った。

月曜日は、期末テスト初日だった。試験監督を終えてから病院に行った。医師から「白血球の数値に異常はないが、前日までの状況から虫垂炎が疑われる」と言われた。「注射で散らしてほしい」と伝えたが、「入院しても三日程度」と言われ、午後から手術を受けることになった。許可をもらって一旦学校に戻り、報告をした後、答案用紙を持って（当時は、個人情報を持ち出しに厳しくない時代）病院に向かった。病室でテストを採点し、手術に備えた。

結果は、盲腸が破裂し腹膜炎を起こしていた。連絡した母は手術には間に合わず、切り取った患部の確認も自分で行った。医師からは「これだけ大きくなった盲腸から見ると、十年くらい前から炎症が始まり、患部は先週の内に破裂したと思われる。成長した盲腸が腹膜と横隔膜の間に入り込み、そこで破裂したから膿が散らなかつた。助かったのは奇跡だ」と言われた。結局、他の先生方や卒業を控えた不安な気持ちでいる学級の生徒たちに多くの迷惑を掛けてしまった。退院できたのは三月十二日、卒業式の二日前だった。

